

令和6年度 第2回 菊池市総合教育会議 (議事録)

○招集年月日 令和7年1月21日(火) 15時00分～

○招集場所 菊池市生涯学習センター「キクロス」 2階 大研修室

○議事日程

- 1 開 会
- 2 市長挨拶
- 3 議事録署名者の指名
- 4 議 題
 - (1) 菊池市教育大綱(改訂案)について
 - (2) その他
- 5 閉 会

○会議の公開、非公開又は一部非公開の別 公開

○出席委員及び欠席委員の氏名

[出席委員]	市 長	江頭 実
	教育長	音光寺 以章
	教育長職務代理	生田 博隆
	委 員	渡邊 和雄
	委 員	増永 幸一郎
	委 員	城 聡子
	委 員	岩根 美紀

○出席職員

教育部	部長	前川 幸輝
教育部	教育審議員	藤田 英明
教育部生涯学習センター	センター長	吉川 良二
教育部	指導主事	清永 邦宏
教育部	指導主事	信國 正和
教育部学校教育課	課長	倉原 桂一
教育部学校給食管理室	室長	富田 信幸
教育部生涯学習課	課長	川口 克明
教育部社会体育課	課長	笹本 聖一
教育部中央図書館	館長	松寺 盛親
教育部学校教育課	課長補佐	岩根 貴史

○事務局

	副市長	芳野 勇一郎
健康福祉部	部長	中尾 孝浩
健康福祉部福祉課	課長	山口 和浩
健康福祉部子育て支援課	課長	藤本 加津美
政策企画部市長公室	課長補佐	吉里 英雄
政策企画部市長公室	係長	中山 和徳

○傍 聴 者 3名

○議 事 内 容

議 題 【議長】	(1) 菊池市教育大綱（改訂案）について 議題（1） 菊池市教育大綱の改訂案について事務局より説明を求めます。
【事務局】	（資料にて説明） 資料 1 菊池市教育大綱（改訂案）に関する意見募集の結果及び市の考え方について（案） 資料 2 菊池市教育大綱（改訂案）修正後 資料 3 菊池市教育大綱（改訂案）新旧対照表 資料 4 菊池市教育大綱（改訂案）【概要版】
【議長】	ありがとうございました。 只今、説明がありました「菊池市教育大綱の改訂案」について、まず委員の皆さんよりご質問があればいただきたいと思います。 （特に意見なし） 特段ご質問がないようですので、いま、事務局から説明がありました修正案これまでの会議等において、ご議論いただきました内容を踏まえまして、ご意見、あるいは感想などがあればお願いしたいと思います。
【委員】	今回の教育大綱ですが、基本理念と基本方針について、ご意見がありましたが、前回の会議でも様々な話をしてその方向で進めることとなりました。特に人財ということでご意見があっていますが、私も企業に勤めていましたので、1960年代のことも承知しておりますし、企業は人なりということも言っていましたが、それを教育に入れたということはすごいことだと思いました。人を大事にするという菊池の考えの教育方針はとても良いと感じました。 要望ではありませんが、前回も少し話しましたが、今は小中学校ともに様々な問題を抱えています。私の場合は大きく言えばスポーツをもっと推進していただきたい、関連もするのですが小学校に対しては居場所づくりという形のを検討してもらいたいと思います。放課後でいえば共働きの家庭も多く、18 時くらいでないと迎えに来られないなどもあって、その間に勉強を見たり、スポーツをしたりだとか、そういう形のを、菊池にはキクロスカレッジマイスターがいますが、全校には入っていませんので、広く推進していただけたらと思います。 もう一つは学校連携協働ということで菊池は県のモデルになるくらい進んでいると思いますが、さらに良いものを作り上げていただきたいと思います。
【委員】	子供たちの家庭環境や社会情勢が変わってきた中で、今回の改訂された教育大綱は、伝統を残しつつ、時代に合った素晴らしいものになったと思います。 あとはこれを保護者や地域の方など多くの方に知っていただくことが大切であり、今後の課題となると思います。 行政、家庭、地域など菊池市全体で同じ方向を向いて子どもたちを見守り育て

	ていけると良いと思います。
【委員】	「こどもまんなか」の文言が入ったことはとても良いと思いました。私も子ども達の元気な笑顔が活気のある地域づくり、まちづくりの中心になると思います。 県の基本計画策定にあたって、パブコメに加えて子ども向けアンケートが実施されているように、今後、本市の基本計画にも子どもたちや若者世代、子育て世代の声を十分に反映して、わかりやすい表現と評価しやすい内容にしていくことが大切だと思います。 さらにこれから人の流れも大きくなってくると思うので、新しい教育課題も出てくることも考えられるので、この大綱が軸となったうえで、柔軟に対応できるような計画を作っていただきたいと思います。
【委員】	教育大綱の策定に関しては、国や県の教育大綱の方針をベースにおいて、作られてきたと思います。 そういう中で小中学生やこれから就学する子どもも含め、子ども一人一人が健やかで幸せな人生を送ってほしいと思います。 そのためには何が必要なのかを考えると社会の中で自分の力を発揮できるよう、力をつけなければならないと思います。 言語としても、今後様々な国の人が菊池に住むようになってくると思われますし、将来海外に住む子どもたちも増えてくるのではないかと思います。 一気に全ての言語を取得することは難しいと思いますが、その場に行った時にひとつひとつづつながら覚えていく、自分の力を発揮していく、いろんな方法で文化を取り入れていくような子供が増えると良いと思います。 具体的な施策については、この後教育振興基本計画で作成されてるものと思いますが、子ども達を育てるためにはどうしていくのか教育委員会事務局においてじっくり検討いただきたいと思います。
【委員】	今回パブリックコメントでいただいた意見で、市のこども計画との整合性などの意見がありましたが、もともと教育大綱は子どもを中心に作られていると思いますが、それだけでなく、基本方針の4と5にあるとおり、生涯学習の推進や文化芸術、スポーツの推進などを含めた教育大綱となっています。そういう中で基本方針1に「子どもの生きる力を育てる」という子どもを主体とした言葉が入っているのもともとの案の中でも子どもまんなかの考え方は入っていたのではないかと思います。 いただいたご意見のようにもっと明確にわかりやすくするという意味では、今回修正の基本方針4の中に地域で、5者連携という学校、子ども、家庭、地域、行政で連携して子どもを育てていく中で「こどもまんなか」が位置づけられたのは良い方向で反映できたのではないかと思います。 この後、教育振興基本計画を策定する中で具体的な施策が出てくると思うの

	で、その中にしっかりと反映できればと考えます。
【教育長】	今回の教育大綱改訂案は基本理念である「郷土が人を育み人が郷土を育む文教のまち菊池」をベースに作られており、前回は話しましたが、非常に菊池にマッチした良い基本理念だと思います。 方針についても国や県の計画を十分踏まえたうえで作られており、大変良いものができていると感じています。 特にコロナ禍明けから様々な活動ができるようになり、子ども達の笑顔や生涯学習講座等を受けていらっしゃる方々の笑顔などが多く見られるようになったと感じています。 また、市民が文化芸術やスポーツに親しむ場の提供もできてきていると感じています。 一方でこれからは、その質を上げていく必要も感じており、学校教育を始め、生涯学習、社会体育もこれまでやってきたことを含め、DX や ICT などを活用しながらさらに発展させていく必要があると考えています。 なかでも大切なことは、様々な活動に対しての熟議が大切であり、組織毎の話し合いや練り合いなどを通して、よりよい教育に発展していくのではないかと考えています。 その中で子ども達の意見を十分に反映しながら、また子どもだけでなく、お年寄りも生き生きとして生涯学習を受けることができるよう様々な分野の意見を取り上げながら作り上げていきたいと考えています。 今回の大綱が県下並びに全国に誇れるものとなるよう努めていきたいと考えています。
【議長】	私からも感想を述べさせていただくと、パブリックコメントからも多くの関心と多様なご意見をいただいたものと考えています。 それらを踏まえて委員会でお諮りしたところで一部修正を加えさせてさせていただきました。 全てが反映できたものではないかもしれませんが、改めて本市の考え方を確認することができたと考えています。 ご意見いただいたことをうれしく思うと同時に感謝を申し上げます。 また、委員の方もおっしゃられていたように、こうした考え方がこの中だけ、市役所の中だけでなく、社会に広がっていった共有することが大事であると感じたところです。 合わせて学ぶ楽しさを一度つかむと自分自身も楽しく、長続きすると思うので、学ぶ楽しみを感じながら続けていくことが大事であると皆さんのご意見を聞きながら感じたところです。 こうした実のある議論ができたことを委員の皆様と支えていただいた皆様、ご意見いただいた皆様に改めて感謝を申し上げます。

【議長】	それでは、議題 1 についてはご承認いただくことでよろしいでしょうか。
委員	(一同同意)
議 題 【議長】	(2) その他について 議題 (2) その他について、事務局からありますか。
事務局	特になし
【議長】	それでは、進行を事務局にお返しします。ご協力ありがとうございました。

菊池市総合教育会議運営要綱第 12 条によりここに署名する。

委 員 増 永 幸 一 郎

